

令和元年度 事務事業マネジメントシート

		事務事業No.		8-	7
事業名	ふれあいセンター経費	会計	款	項	目
		一般	3	1	3
施策	2 人にやさしいまち	課名	地域福祉課		
	2-2 支えあいを実感できるまちをつくる	係名			
	2-2-1 地域福祉の推進				
主要施策	②社会福祉協議会、関係団体等の活動支援				

① 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	町民（施設利用者）	目的（対象がどのような状態になっているか）	地域福祉を推進する拠点施設であるふれあいセンターの適切な維持管理を行ない、町民の福祉増進及び福祉意識の高揚を図る。
事業内容	ふれあいセンター事業・・・地域に密着した各種福祉活動の拠点として、町の地域福祉の推進を図るため、施設の保守点検及び維持管理を行い、安心して利用できるよう長寿命化を推進していく。また、財政状況を考慮しながら、公共施設等総合管理計画及び個別施設計画に基づき、計画的な改修を進め、施設の長寿命化を図る。			

② 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

		指標名	平成29年度	平成30年度	令和元年度	単位	目標方向	令和2年度（目標）
指標	1	施設利用者延べ人数	16,891	15,048	15,938	人	↑	18,000
	2							
	3							
	4							
	5							
			平成30年度（決算）		令和元年度（決算）	令和2年度（予算）		
全体事業費（千円）A+B					14,058	13,336	89,687	
財源内訳	直接事業費A				12,738	12,016	87,509	
	うち一般財源				4,968	4,583	7,154	
人件費（千円）B					1,320	1,320	2,178	
内訳	一般職員（人・千円）		0.2	1320	0.2	1320	0.33	2178
	臨時職員（人・千円）		0	0	0	0	0	0

③ 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善<※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B 必要性は変わらない	有効性	目標達成度	B 達成できなかった
		町関与の必要性	A 町が担うべき	効率性	対象者の適切性	C 対象が広すぎる
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	Ⅲ 要改善（事業は継続するが、更なる改善が必要）					

(2) 事務事業の業務改善について

①R1年度の改善計画	個別施設計画に基づき、財政負担を考慮しながら、計画的に施設改修を実施していく必要がある。	③取組の課題	平成6年の建設から30年が経過し、施設が老朽化していることから、改修に多大な費用が必要である。
②R1年度に実施した取り組み	経常的な維持管理を行いました。	④今後の改善計画	個別施設計画に基づき、財政負担を考慮しながら、計画的に施設改修を実施していく必要がある。 来年度は、照明設備のLED化及び子育て支援センターの整備を実施します。